

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日  
東

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所  
 コード番号 4061 URL <https://www.denka.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今井 俊夫  
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名)山本 浩之 (TEL) 03(5290)5511  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	308,733	8.7	26,060	△19.0	23,736	△21.1	8,842	△61.4
2022年3月期第3四半期	283,977	8.4	32,181	14.8	30,097	10.2	22,911	21.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 24,298百万円(△9.1%) 2022年3月期第3四半期 26,717百万円(35.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	102.54	—
2022年3月期第3四半期	265.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	617,542	303,801	48.6
2022年3月期	557,646	292,094	51.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 299,852百万円 2022年3月期 288,472百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	70.00	—	75.00	145.00
2023年3月期	—	70.00	—		
2023年3月期(予想)				30.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	6.5	33,000	△17.8	29,000	△20.5	12,000	△53.9	139.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	88,555,840株	2022年3月期	88,555,840株
2023年3月期3Q	2,326,278株	2022年3月期	2,324,689株
2023年3月期3Q	86,230,311株	2022年3月期3Q	86,226,946株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や設備投資が上向くなど景気は持ち直しの動きがみられましたが、資源価格が一段と高騰したほか円安が急激に進行し、先行きに対する不透明感が高まりました。世界経済は、各国で物価の上昇が進み、ウクライナ危機の長期化や中国の経済活動抑制などもあり減速感が強まっています。

このような経済環境のもと、当社グループは、企業理念“*The Denka Value*”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「*Denka Value-Up*」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。また、2021年度からの2年間では、次期経営計画のありたい姿へ飛躍するための大切な準備期間と位置づけ、「社会にとってかけがえのない存在」になるための第一歩として、「事業」「環境」「人財」に関する3つの「*Value-Up*」に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、数量面では世界経済減速の影響を受け、主力製品の一部で需要が減少しましたが、原材料価格の上昇に応じた販売価格の見直しを行ったほか円安による手取り増があり、売上高は3,087億33百万円と前年同期に比べ247億55百万円(8.7%)の増収となりました。

利益面では、原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定を行いました。スペシャリティー化進展のためのコスト増があり、営業利益は260億60百万円(前年同期比61億21百万円減、19.0%減益)となり、経常利益は237億36百万円(前年同期比63億61百万円減、21.1%減益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、ポートフォリオ変革としてセメント事業からの撤退を決定したことから特別損失を計上し、88億42百万円(前年同期比140億69百万円減、61.4%減益)となりました。

#### <電子・先端プロダクツ部門>

高純度導電性カーボンブラックは需要が堅調に推移したほか、販売価格の改定により増収となり、窒化ケイ素もxEV向けの需要が堅調に推移いたしました。一方、電子部品・半導体関連分野向け高機能フィルムや球状溶融シリカフィラーは、パソコン、スマートフォンなどの民生向け需要の減少により販売数量が減少しました。また、球状アルミナの販売も、xEVや5G関連向けは堅調に推移しましたが、民生向けの需要が減少し全体では前年を下回りました。このほか、自動車産業用向けの金属アルミ基板“ヒットプレート”やLED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”も前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は697億91百万円(前年同期比36億30百万円(5.5%)増収)となり、営業利益は137億53百万円と前年同期に比べ41百万円(0.3%)の減益となりました。

#### <ライフイノベーション部門>

インフルエンザワクチンの出荷は生産能力を増強したことから前年を上回りました。一方、新型コロナウイルスの抗原迅速診断キットおよびインフルエンザウイルスとの同時診断キットは、感染の拡大に加え、地方自治体を通じた高齢者施設への配布や家庭や職場でのスクリーニング検査など需要の裾野が拡大し出荷量が増加しましたが、保険点数引き下げにより価格が大幅に下落し減収となりました。

この結果、当部門の売上高は387億74百万円(前年同期比26億16百万円(7.2%)増収)となりましたが、営業利益は115億38百万円と前年同期に比べ4億1百万円(3.4%)の減益となりました。

#### <エラストマー・インフラソリューション部門>

当部門はウクライナ危機に端を発した原燃料価格上昇の影響を大きく受けました。クロロプレンゴムは販売数量が前年を下回りましたが、原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定を行いました。このほか、肥料の販売は前年を上回り、特殊混和材の販売は概ね前年並みとなりました。一方、セメントは原燃料価格の上昇に対して価格転嫁が一部にとどまりました。

この結果、当部門の売上高は945億30百万円(前年同期比169億96百万円(21.9%)増収)となり、21百万円の営業損失(前年同期は営業損失11億64百万円)となりました。

<ポリマーソリューション部門>

スチレン系製品は原燃料価格の上昇に応じた販売価格の改定を進めました。数量面では、ABS樹脂や透明樹脂は自動車減産や中国経済減速の影響を受け減少し、デンカシンガポール社のMS樹脂はテレビやモニター向けの需要が減少しました。このほか、スチレンモノマーは定期修繕によるコストの増加があり、食品包材用シートおよびその加工品、合繊かつら用原糸“トヨカロン”の販売は前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は938億99百万円（前年同期比11億82百万円（1.3%）増収）となり、10億87百万円の営業損失（前年同期は営業利益62億67百万円）となりました。

<その他部門>

YKアクロス株式会社等の商社は取扱高が概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は117億37百万円（前年同期比3億29百万円（2.9%）増収）となり、営業利益は21億7百万円と前年同期に比べ5億80百万円（38.1%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ598億96百万円増加の6,175億42百万円となりました。流動資産は、棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ584億17百万円増加の2,765億81百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ14億79百万円増加の3,409億61百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べ481億89百万円増加の3,137億41百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ117億7百万円増加して3,038億1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.7%から48.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年1月13日に公表した予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,210	22,253
受取手形、売掛金及び契約資産	101,026	123,605
商品及び製品	55,790	82,193
仕掛品	4,516	3,393
原材料及び貯蔵品	25,352	33,895
その他	11,485	11,493
貸倒引当金	△218	△253
流動資産合計	218,164	276,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	82,587	78,334
機械装置及び運搬具（純額）	90,006	95,393
工具、器具及び備品（純額）	4,666	4,228
土地	63,494	63,699
リース資産（純額）	2,141	2,395
建設仮勘定	20,276	19,575
有形固定資産合計	263,171	263,626
無形固定資産		
のれん	5,989	6,157
特許権	359	299
ソフトウェア	1,111	1,326
その他	2,931	3,523
無形固定資産合計	10,391	11,308
投資その他の資産		
投資有価証券	60,552	59,833
長期貸付金	140	133
繰延税金資産	1,326	1,718
その他	3,971	4,417
貸倒引当金	△73	△76
投資その他の資産合計	65,918	66,026
固定資産合計	339,482	340,961
資産合計	557,646	617,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,032	63,957
短期借入金	40,545	45,376
コマーシャル・ペーパー	8,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	12,470	11,979
未払法人税等	5,439	2,517
未払消費税等	298	162
賞与引当金	2,904	800
その他	46,988	47,768
流動負債合計	166,679	188,562
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	39,016	68,038
繰延税金負債	5,995	1,579
再評価に係る繰延税金負債	8,401	8,401
退職給付に係る負債	5,074	4,975
株式給付引当金	60	76
その他	3,324	5,107
固定負債合計	98,872	125,178
負債合計	265,552	313,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,397	49,406
利益剰余金	183,128	179,461
自己株式	△7,645	△7,650
株主資本合計	261,879	258,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,883	16,297
繰延ヘッジ損益	△348	85
土地再評価差額金	10,377	10,377
為替換算調整勘定	2,410	17,225
退職給付に係る調整累計額	△2,731	△2,348
その他の包括利益累計額合計	26,592	41,636
非支配株主持分	3,621	3,948
純資産合計	292,094	303,801
負債純資産合計	557,646	617,542

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	283,977	308,733
売上原価	201,139	229,395
売上総利益	82,838	79,337
販売費及び一般管理費	50,656	53,277
営業利益	32,181	26,060
営業外収益		
受取利息	44	-
受取配当金	1,516	1,972
持分法による投資利益	555	1,714
為替差益	-	64
その他	498	397
営業外収益合計	2,615	4,150
営業外費用		
支払利息	700	880
固定資産処分損	2,087	2,533
操業休止等経費	669	1,129
為替差損	143	-
その他	1,098	1,930
営業外費用合計	4,698	6,473
経常利益	30,097	23,736
特別利益		
投資有価証券売却益	100	3,139
特別利益合計	100	3,139
特別損失		
製品自主回収関連費用	1,015	-
事業整理損	-	17,030
特別損失合計	1,015	17,030
税金等調整前四半期純利益	29,182	9,845
法人税、住民税及び事業税	6,734	853
四半期純利益	22,448	8,992
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△463	150
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,911	8,842



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	22,448	8,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	△708
為替換算調整勘定	4,033	15,098
退職給付に係る調整額	383	382
持分法適用会社に対する持分相当額	41	533
その他の包括利益合計	4,269	15,306
四半期包括利益	26,717	24,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,141	23,886
非支配株主に係る四半期包括利益	△423	412

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子・先端 プロダクツ	ライフイノ ベーション	エラストマ ー・インフ ラソリユー ション	ポリマーソ リユーショ ン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	66,160	36,157	77,533	92,717	272,569	11,408	283,977	—	283,977
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	101	101	2,636	2,738	(2,738)	—
計	66,160	36,157	77,533	92,819	272,671	14,044	286,716	(2,738)	283,977
セグメント利益 又は損失(△)	13,794	11,939	△1,164	6,267	30,837	1,526	32,363	(182)	32,181

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△182百万円は、セグメント間取引消去によるものです。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	166,032	74,294	43,650	117,945	283,977
連結売上高に占める割合(%)	58.5	26.2	15.4	41.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子・先端 プロダクツ	ライファイノ バージョン	エラストマ ー・インフ ラソリュー ション	ポリマー ソリュー ション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	69,791	38,774	94,530	93,899	296,995	11,737	308,733	—	308,733
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	40	77	118	4,710	4,829	(4,829)	—
計	69,791	38,774	94,570	93,977	297,114	16,447	313,562	(4,829)	308,733
セグメント利益 又は損失(△)	13,753	11,538	△21	△1,087	24,182	2,107	26,290	(230)	26,060

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△230百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	177,401	77,153	54,178	131,332	308,733
連結売上高に占める割合(%)	57.5	25.0	17.5	42.5	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。